

県民の皆さんとともに取り組みます（プロジェクトの目標）

めざす姿と到達目標

二歩先を見据えて、環境・エネルギー関連分野の技術の活用やエネルギーの効率的な利用を図りながら、ライフスタイルや生産プロセスなどあらゆるシーンで変革を促す取組を進め、4年後までには、環境負荷を減らしながら、県民の皆さんが豊かさを実感できる「スマートライフ^{注1}」への転換が進んでいます。

▼ **「自立し、行動する」視点**

企業を主体としたネットワークの構築、さまざまな連携の場や仕組みづくりに取り組み、県内中小企業が自ら保有している既存技術を生かしたり、改良、開発することにより、環境・エネルギー関連分野での新たな事業展開を促進します。また、県民や企業が、それぞれの立場でエネルギーの需要削減や新エネルギーの導入に取り組むとともに、エネルギーの供給者と利用者等が新たな連携を図りながら、洋上風力など新エネルギーの導入やエネルギーマネジメントシステムの構築に向けた調査研究に取り組みます。

▼ **「みんなで取り組む」視点**

県民の皆さんや企業などさまざまな主体の連携・協力のもと、ライフスタイルの転換や省エネルギーにつながる取組を展開することで、新たな産業の創出や新たな社会システムの構築をめざします。

プロジェクトの背景

- 資源の枯渇、地球温暖化、エネルギーの需要拡大など、世界規模での環境・エネルギー問題に直面しています。さらに、東日本大震災以降の状況変化をふまえ、エネルギーの作り方や使い方を根本的に変えていく必要があります。
- 地域資源を生かした安全で安心な新エネルギーの確保に向け、地域活性化、地球温暖化対策、産業振興と連動させながら、地域からの積極的な取組を進める必要があります。
- 省エネルギーの取組を進めるなど、豊かで快適な暮らしを実現するためのライフスタイルや価値観の転換をさらに進めていく必要があります。

プロジェクトの数値目標

目標項目	H23 (現状)	H24	▶	H27
県民や企業をはじめとしたさまざまな主体が協働して取り組むプロジェクト数(累計)				

[目標項目の説明]

・「クリーンエネルギーバレー構想^{注2}」などの中で取り組むプロジェクト数

プロジェクトの構成

実践取組 1

「環境・エネルギー関連産業の集積と育成」 に挑戦します！

「クリーンエネルギーバレー構想」により、中小企業の既存技術を生かした環境・エネルギー分野への展開促進や、ネットワークを活用したプロジェクトの誘発を推進し、関連産業の集積と育成を図るとともに、多様な産業の育成につなげます。

- 県内企業等の新たな技術開発・省エネ技術に係る研究開発を促進します。また、こうした研究開発の取組をさらに加速するため、県内企業等の技術課題の解決に向けた検討の場づくりや、企業を主体としたネットワークの構築等連携の仕組みづくりを支援します。
- 自動車の軽量化や省エネ化につながる基盤技術の高度化、基盤技術を活用した製品の開発をめざす研究会や、技術交流会等を開催します。
- 試作開発に成功した全固体ポリマーリチウム二次電池の実用化をめざし、市場ニーズに合致するよう電池性能等を向上させるとともに、県内材料メーカー等の二次電池市場への参入を支援します。

実践取組 2

「地域資源を生かした安全で安心な 新エネルギーの導入」に挑戦します！

三重県の地域資源を生かした太陽光発電、風力発電、木質バイオマス利用、小水力発電等の導入を促進するとともに、エネルギーの効率的な利用を進め、地域における安全で安心なエネルギーの供給力を高めます。

また、将来実用化が期待されている次世代のエネルギー資源および環境・エネルギー関連の新たなビジネスモデルについて、地域活性化につながる取組方策を検討します。

- メガソーラー、木質バイオマス利用、小水力発電等の事業実施に向けた、地域住民、土地所有者等とのコーディネートを行います。
- 洋上風力、メタンハイドレート等、将来実用化が期待されているエネルギー資源の導入可能性や、スマートシティ等のエネルギーマネジメントシステムの実現可能性について調査します。
- 企業の生産プロセスにおける省エネルギーの取組を促進するため、省エネを推進するための技術や知識が向上される仕組みづくりや、省エネ活動を実践する人材の育成などに取り組みます。

実践取組 3

「県民や企業と取り組む省エネをはじめと した地域づくりの推進」に挑戦します！

県民や企業などさまざまな主体による電気自動車（EV）等を活用した地域での取組を通じ、低炭素社会の具体的な姿を共有することで、新たな豊かさを実感できる社会づくりを行います。

- 観光地における電気自動車（EV）等の利用など、あらゆる生活のシーンで省エネを実践する仕組みづくりについて、県民の皆さんや企業などさまざまな主体との連携のもと検討を行います。

主な事業

事業名	平成 24 年度 事業費 (単位:千円)	施策番号 及び 施策名	担当 部局名	選択・集 中PG 特別枠
クリーンエネルギー 研究推進事業費	9, 154	(321) 三重の強みを生かした事業環境の整備と企業誘致の推進	農水商 工部	○
自動車関連技術高 度化支援事業費	7, 652	(321) 三重の強みを生かした事業環境の整備と企業誘致の推進	農水商 工部	
次世代二次電池イ ノベーション創出事 業費	12, 719	(324) 中小企業の技術力向 上支援と科学技術の振興	農水商 工部	
新エネルギー導入 促進事業費	79, 513	(325) 新しいエネルギ ー社会の構築	政策部	○
木質バイオマスエ ネルギー利用促進 事業費	143, 920	(313) 林業の振興と森 林づくり	環境森 林部	○
次世代エネルギー 等調査研究事業費	1, 500	(325) 新しいエネルギ ー社会の構築	政策部	○
すこいやんか省エ ネ大賞事業費	1, 580	(325) 新しいエネルギ ー社会の構築	農水商 工部	○
地域と共に創る電気自 動車等を活用した低炭 素社会モデル事業費	12, 734	(151) 地球温暖化対策 の推進	環境森 林部	○

注) 1 スマートライフ：新しい生活様式といった意味合いから、国においてもエネルギーに関連した取組で使用されるなど、さまざまな定義のもとに使用されている言葉。このプロジェクトにおいては、「環境・エネルギー関連分野の技術を活用して、ライフスタイルや生産プロセスなどあらゆるシーンで変革を促し、豊かさを協創していくこと」という意味で用いています。

注) 2 クリーンエネルギーバレー構想：環境・エネルギー関連分野の市場や技術の動向、地域のポテンシャルなどを的確に把握し、新事業展開の可能性などについて、調査、検討を行なった上で、将来にわたり大きな成長と雇用の創出が期待できる「クリーンエネルギー関連分野」の集積を図ることをめざし策定する構想。